

CASBEE® 広島

(2010年ver.1)

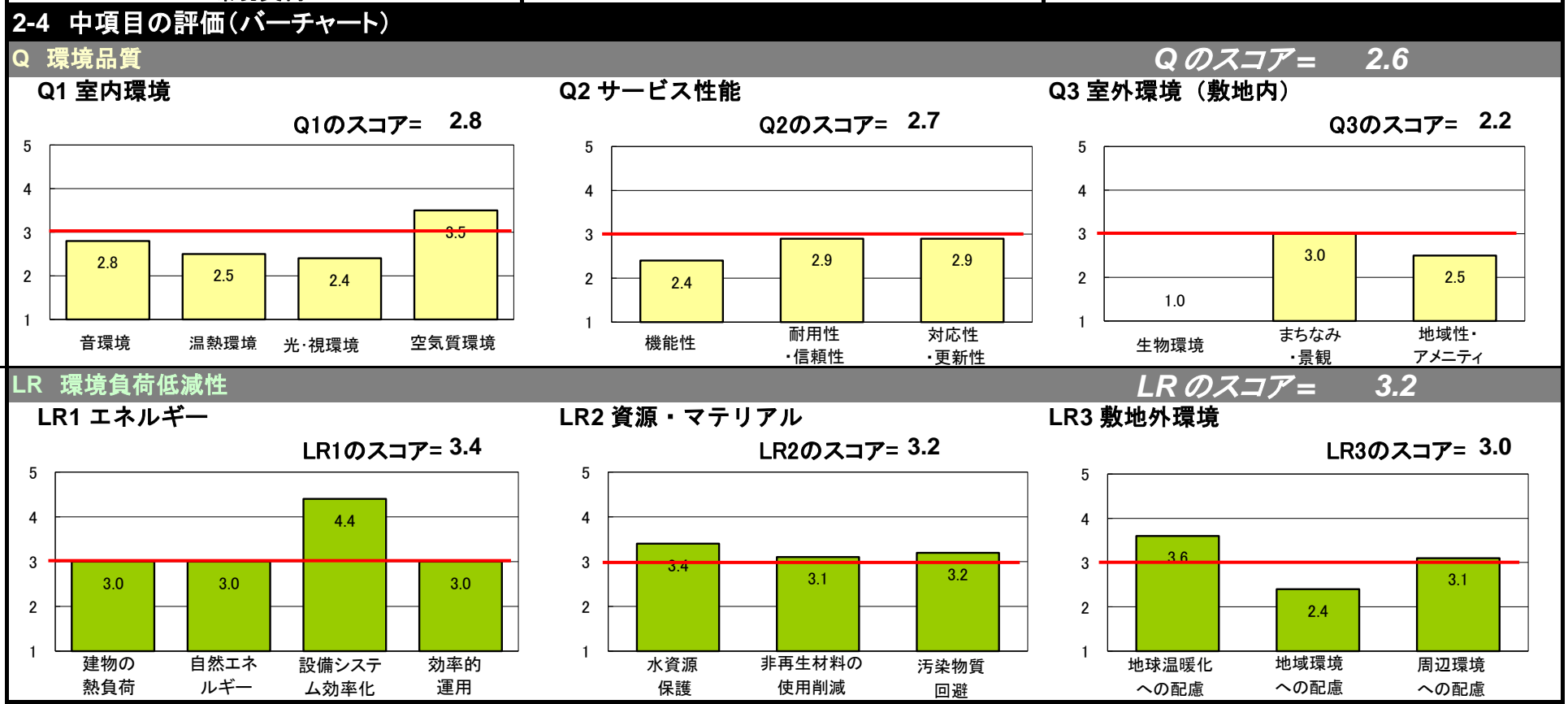
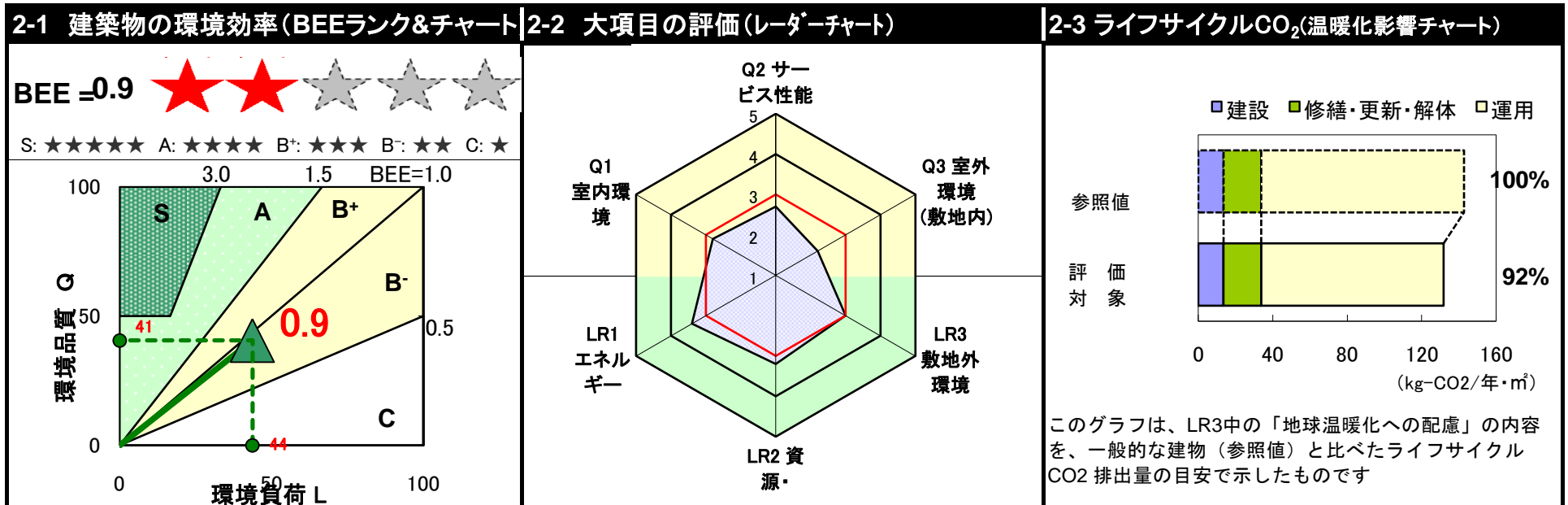
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	S&Cプロジェクト(A工区) 総合研修センター	階数	地上5F
建設地	広島市佐伯区五日市港二丁目2番	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	30人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,200時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年1月 予定	評価の実施日	2011年4月25日
敷地面積	100,060 m ²	作成者	田中
建築面積	891 m ²	確認日	2011年5月10日
延床面積	2,264 m ²	確認者	東谷

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.0

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.3	スコア = 1.9	スコア = 2.8
設計の計画上特段に配慮した事項 外装に断熱性能の高いALC版を採用 / Hf蛍光灯、照明の人感センサー制御 / 節水器具の採用 /	設計の計画上特段に配慮した事項 工業団地として緑地、公園を整備している / 駐車場協議に対応し駐車場を確保	設計の計画上特段に配慮した事項 塩害対策機器を採用 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される